

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-331090

(43)Date of publication of application : 30.11.2000

(51)Int. Cl.

G06F 17/60

G11B 27/10

// G10K 15/04

(21)Application number : 2000-048875

(71)Applicant : ORICON DIRECT DIGITAL:KK

(22)Date of filing : 21.02.2000

(72)Inventor : KOIKE SATOYUKI

(30)Priority

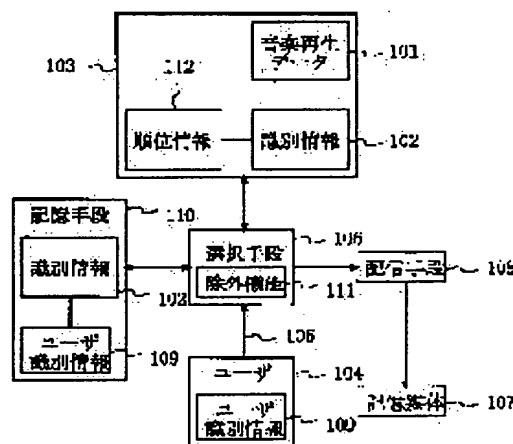
Priority number : 11364219 Priority date : 22.12.1999 Priority country : JP

**(54) MUSIC SELECTION SUPPORT SYSTEM FOR MUSIC DELIVERY AND MUSIC SELECTION AND DELIVERY METHOD**

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To obtain a method which enables a user to collectively selected desired music pieces from many music pieces and to prevent selected music pieces from including the music pieces, which were selected in the past, in a music data delivery system.

**SOLUTION:** A music data base 103 where plural music reproduced data 101 are stored in relation to peculiar identification information 102, a selection means 106 which accepts a selection condition 105 from a user 104 and selects the music reproduced data 101 from the music data base 103 in accordance with this selection condition, a delivery means 108 which delivers the selected music reproduced data 101 to a recording medium 107 of the user 104, and a storage means 110 where identification information 102 of the music reproduced data selected in the past by the user 104 are stored in relation to identification information 109 of the user 104 are provided, and the selection means 106 is provided with an excluding function 111 which excludes the music reproduced data 101, which the user selected in the past, from the selection object on the basis of information in the storage means 110 when receiving the selection condition 105 from the user 104.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-331090  
(P2000-331090A)

(43) 公開日 平成12年11月30日 (2000. 11. 30)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60		G 0 6 F 15/21	3 3 0
	Z E C	G 1 1 B 27/10	A
G 1 1 B 27/10		G 1 0 K 15/04	3 0 2 D
// G 1 0 K 15/04	3 0 2	G 0 6 F 15/21	Z E C Z

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L 公開請求 (全 14 頁)

(21) 出願番号 特願2000-48875(P2000-48875)  
(22) 出願日 平成12年2月21日 (2000. 2. 21)  
(31) 優先権主張番号 特願平11-364219  
(32) 優先日 平成11年12月22日 (1999. 12. 22)  
(33) 優先権主張国 日本 (J P)

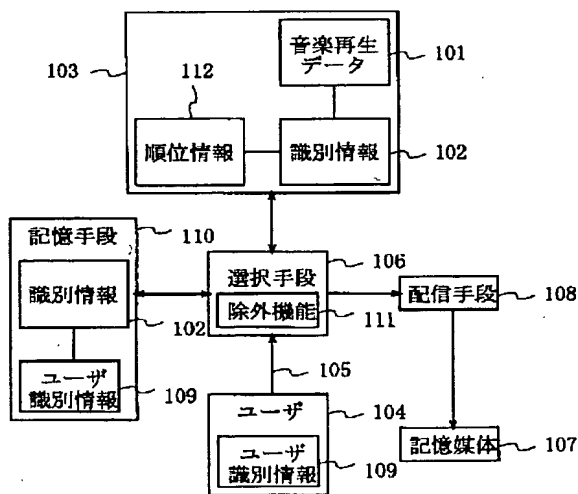
(71) 出願人 599139648  
株式会社おりこん・ダイレクトデジタル  
東京都港区六本木7丁目15番14号  
(72) 発明者 小池 聡行  
東京都港区六本木7丁目17番16号 株式会  
社おりこん・ダイレクトデジタル内  
(74) 代理人 100110652  
弁理士 塩野谷 英城

(54) 【発明の名称】 音楽配信用の選曲支援システム及び選曲配信方法

(57) 【要約】

【課題】 音楽データ配信のシステムにおいて、ユーザが沢山の曲から所望の曲をまとめて選択できる方法を与えると共に、過去に選択した曲と同じ曲が含まれないようにする。

【解決手段】 複数の音楽再生データ101を固有の識別情報102と関連付けて格納した音楽データベース103と、ユーザ104から選択条件105を受け付け当該選択条件に従って音楽データベース103から音楽再生データ101を選択する選択手段106と、選択した音楽再生データ101をユーザ104の記録媒体107に配信する配信手段108と、ユーザ104が過去に選択した音楽再生データの識別情報102を当該ユーザ104の識別情報109と関連付けて記憶する記憶手段110とを備え、選択手段106は、ユーザ104から選択依頼105を受けると、記憶手段110の情報に基づいて、当該ユーザが過去に選択した音楽再生データ101を選択の対象から除外する除外機能111を備えている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の音楽再生データを固有の識別情報と関連付けて格納した音楽データベース、ユーザから選択条件を受け付け当該選択条件に従って前記音楽データベースから音楽再生データを選択する選択手段、

選択した音楽再生データをユーザの記録媒体に配信する配信手段、

ユーザが過去に選択した音楽再生データの識別情報を当該ユーザの識別情報と関連付けて記憶する記憶手段、

を備え、

前記選択手段は、ユーザから選択依頼を受けると、前記記憶手段の情報に基づいて、当該ユーザが過去に選択した音楽再生データを前記選択の対象から除外する除外機能を備えていることを特徴とした音楽配信用の選曲支援システム。

【請求項 2】 前記音楽データベースは、前記音楽再生データの識別情報と当該音楽のヒットチャートの順位とを関連付けて格納し、

前記選択条件が、ヒットチャートの上位曲である請求項 1 記載の音楽配信用の選曲支援システム。

【請求項 3】 前記音楽データベースは、前記音楽再生データの識別情報と当該音楽のイメージを表す情報とを関連付けて格納し、

前記選択条件が、音楽に求めるイメージである請求項 1 記載の音楽配信用の選曲支援システム。

【請求項 4】 前記音楽データベースは、前記音楽再生データの識別情報と当該音楽のジャンル情報とを関連付けて格納し、

前記除外機能は、前記ユーザの指定した音楽ジャンルに属する音楽再生データを前記選択の対象から除外する請求項 1 記載の音楽配信用の選曲支援システム。

【請求項 5】 コンピュータ端末を用いたネット上で、各楽曲がそれぞれ有する識別コードからユーザが絞り込みを行い、その中から選曲した楽曲を前記コンピュータ端末の記録媒体へ配信して編集を行う選曲支援システムであって、

前記識別コードは、楽曲のイメージ表現用として選定した複数の表現用言語に対し 1 対 1 に対応するそれぞれ異なる文字から成るシンボル文字を任意数選択したシンボル文字列から構成され、

前記各楽曲について前記シンボル文字列を付与して識別コードを作成し、楽曲及び識別コード及びメロディデータを音楽データとして格納する音楽データベースと、

任意の数の前記各シンボル文字を入力することで検索情報を入力可能とする情報入力部と、

前記情報入力部に入力された検索情報が楽曲の識別コード中に含まれているかを判断し、前記音楽データベースから該当する楽曲を引き出す検索を行い、検索された楽曲のメロディデータを前記コンピュータ端末側に配信可

能とするデータ処理部と、を具備することを特徴とする選曲支援システム。

【請求項 6】 コンピュータ端末を用いたネット上で、各楽曲がそれぞれ有する識別コードからユーザが絞り込みを行い、その中から選曲した楽曲を前記コンピュータ端末の記録媒体へ配信して編集を行う選曲支援システムであって、

前記識別コードは、楽曲のイメージ表現用として選定した複数の表現用言語に対し 1 対 1 に対応する情報を任意数選択した情報列から構成され、

前記各楽曲について前記情報列を付与して識別コードを作成し、楽曲及び識別コードを音楽データとして格納する音楽データベースと、

前記コンピュータの表示装置の画面上に表現用言語を表示させ、任意の数の表現用言語を選択して検索情報を入力可能とする情報入力部と、

前記情報入力部に入力された検索情報が楽曲の識別コード中に含まれているかを判断し、前記音楽データベースから該当する楽曲を引き出す検索を行い、検索された楽曲のメロディデータを前記コンピュータ端末側に配信可能とするデータ処理部とを具備することを特徴とする選曲支援システム。

【請求項 7】 情報入力部は、特定の音楽ジャンルの楽曲を除外する選択を行うための除外条件情報を入力可能とし、

前記除外条件情報を含む楽曲は、データ処理部における検索から除去する請求項 5 又は請求項 6 に記載の選曲支援システム。

【請求項 8】 コンピュータ端末を用いたネット上で、各楽曲がそれぞれ有する音楽データからユーザが絞り込みを行い、その中から選曲した楽曲を前記コンピュータ端末の記録媒体へ配信して編集を行う選曲配信方法であって、

前記各音楽データには楽曲のイメージを表現用言語で表現するイメージ情報を含むとともに、音楽データは年度毎に作成された年間ヒットチャートランキングで各年毎に管理される一方、

配信を受けたい楽曲数を設定し、

配信を受けたいヒットチャート年度を指定し、

前記表現用言語に対応する検索情報を入力し、

前記検索情報を含んだ楽曲を指定された年度の年間ヒットチャートからランキング順に前記楽曲の設定数に対応して選曲し、

前記記録媒体へ配信して編集することを特徴とする選曲配信方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、コンピュータを用いたネット上で、ユーザが膨大な数の音源から選曲を行った楽曲を記録媒体へダウンロードする際の選曲支

援システムに係り、ユーザーが楽曲名を知らない場合であっても、曲が有する文字で表現できる各種情報を元に、ユーザーが各情報を選択することにより希望する楽曲の絞り込みを行って選曲する等の選曲支援システムに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、コンピュータを用いたネット上で各種情報の送受が行われているが、音楽ソフトについてもインターネットを介してダウンロードするサービス（音楽配信サービス）が実現可能となって来ている。この場合、ダウンロードを受けたいユーザーは、音楽配信サービスを行う者が予め容易する音楽ソフトの中から選曲することになるが、提供する音楽ソフトの数が膨大であると、選曲が困難になる場合が想定される。

【0003】一方、ネット上では既に、楽曲名、アーティスト名、CDアルバム名等の音楽情報を相互に検索可能なシステムが構築されているので、これらの情報からは比較的容易に楽曲を検索し、音楽配信サービスを受け得ることが考えられる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、ユーザー方で楽曲名やアーティスト名が分からないような場合、上記した検索方法では対処することができず、また、楽曲の持っている雰囲気やテンポ等の表現形態から漠然と楽曲を選択したいような場合も考えられる。すなわち、この要望に対処するよう楽曲名やアーティスト名以外の情報から楽曲を選曲し、音楽配信サービスを行うようなシステムは存在しない。また、一定の選択条件で複数の曲を選択する場合、過去に配信を受けた曲と同じ曲が含まれているかのチェックが面倒である。

【0005】本発明は上記実情に鑑みてなされたものであり、コンピュータを用いたネット上で音楽配信サービスを行う場合において、沢山の曲から所望の曲をまとめて選択できる方法を与えるとともに、過去に選択した曲と同じ曲が含まれないようにすることを目的とする。また、楽曲についての表現形態に対応する表現用言語を選択することにより、楽曲を検索して編集できるようにした選曲支援システムを提供することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため請求項1記載の発明は、複数の音楽再生データを固有の識別情報と関連付けて格納した音楽データベースと、ユーザーから選択条件を受け付け当該選択条件に従って前記音楽データベースから音楽再生データを選択する選択手段と、選択した音楽再生データをユーザーの記録媒体に配信する配信手段とを備えている。また、ユーザーが過去に選択した音楽再生データの識別情報を当該ユーザーの識別情報と関連付けて記憶する記憶手段を有する。更に、前記選択手段は、ユーザーから選択依頼を受けると、前記記憶手段の情報に基づいて、当該ユーザーが過去に選択した

音楽再生データを前記選択の対象から除外する除外機能を備えている、という構成を採っている。

【0007】本発明では、多数存在する音楽再生データから音楽配信用に数曲を選択する場合、特定の選択条件で選択を行うが、この際に、過去に購入した音楽再生データと同じものが再度選択されないように、同じユーザーが過去に選択した音楽再生データは、選択の対象から除くようにする。

【0008】請求項2記載の発明では、前記音楽データベースは、前記音楽再生データの識別情報と当該音楽のヒットチャートの順位とを関連付けて格納し、前記選択条件が、ヒットチャートの上位曲である、という構成を採っている。

【0009】請求項3記載の発明では、前記音楽データベースは、前記音楽再生データの識別情報と当該音楽のイメージを表す情報とを関連付けて格納し、前記選択条件が、音楽に求めるイメージである、という構成を採っている。

【0010】請求項4記載の発明では、前記音楽データベースは、前記音楽再生データの識別情報と当該音楽のジャンル情報とを関連付けて格納し、前記除外機能は、前記ユーザーの指定した音楽ジャンルに属する音楽再生データを前記選択の対象から除外する、という構成を採っている。

【0011】請求項5の発明は、コンピュータ端末を用いたネット上で、各楽曲がそれぞれ有する識別コードからユーザーが絞り込みを行い、その中から選曲した楽曲を前記コンピュータ端末の記録媒体へ配信（ダウンロード）して編集を行う選曲支援システムであって、前記識別コードは、楽曲のイメージ表現用として選定した複数の表現用言語に対し1対1に対応するそれぞれ異なる文字から成るシンボル文字を任意数選択したシンボル文字列から構成され、次の構成を含むことを特徴としている。

【0012】音楽データベース。この音楽データベースは、前記各楽曲について前記シンボル文字列を付与して識別コードを作成し、楽曲及び識別コード及びメロディデータを音楽データとして格納するものである。

【0013】情報入力部。この情報入力部は、任意の数の前記各シンボル文字を入力することで検索情報を入力可能とするものである。

【0014】データ処理部。このデータ処理部は、前記情報入力部に入力された検索情報が楽曲の識別コード中に含まれているかを判断し、前記音楽データベースから該当する楽曲を引き出す検索を行い、検索された楽曲のメロディデータを前記コンピュータ端末側に配信可能とするものである。

【0015】請求項5の発明によれば、コンピュータ端末を用いたネット上で、ユーザーが複数のシンボル文字を検索情報として入力することで、これらシンボル文字

が楽曲の識別コード中に含まれているかを判断することにより、楽曲を検索し選曲の絞り込みを行うことが可能となる。

【0016】請求項6の発明は、コンピュータ端末を用いたネット上で、各楽曲がそれぞれ有する識別コードからユーザーが絞り込みを行い、その中から選曲した楽曲を前記コンピュータ端末の記録媒体へ配信（ダウンロード）して編集を行う選曲支援システムであって、前記識別コードは、楽曲のイメージ表現用として選定した複数の表現用言語に対し1対1に対応する情報を任意数選択した情報列から構成され、次の構成を含むことを特徴としている。

【0017】音楽データベース。この音楽データベースは、前記各楽曲について前記情報列を付与して識別コードを作成し、楽曲及び識別コードを音楽データとして格納するものである。

【0018】情報入力部。この情報入力部は、前記コンピュータの表示装置の画面上に表現用言語を表示させ、任意の数の表現用言語を選択して検索情報を入力可能とするものである。

【0019】データ処理部。このデータ処理部は、前記情報入力部に入力された検索情報が楽曲の識別コード中に含まれているかを判断し、前記音楽データベースから該当する楽曲を引き出す検索を行い、検索された楽曲のメロディデータを前記コンピュータ端末側に配信可能とするものである。

【0020】請求項6の発明によれば、コンピュータ端末を用いたネット上で、ユーザーが画面上において複数の表現用言語を検索情報として選択して入力することで、これら検索情報が楽曲の識別コード中に含まれているかを判断することにより、楽曲を検索し選曲の絞り込みを行うことが可能となる。

【0021】請求項7の発明は、請求項5又は請求項6に記載の選曲支援システムにおいて、情報入力部は、特定の音楽ジャンルの楽曲を除外する選択を行うための除外条件情報を入力可能とし、前記除外条件情報を含む楽曲は、データ処理部における検索から除去することを特徴としている。

【0022】請求項7の発明によれば、特定の音楽ジャンルの楽曲を除外する選択を行うための除外条件情報を有することにより、検索対象から希望しない楽曲を積極的に排除することができる。

【0023】請求項8の発明方法は、コンピュータ端末を用いたネット上で、各楽曲がそれぞれ有する音楽データからユーザーが絞り込みを行い、その中から選曲した楽曲を前記コンピュータ端末の記録媒体へ配信して編集を行う選曲配信方法であって、各楽曲の音楽データには楽曲のイメージを表現用言語で表現するイメージ情報を含むとともに、音楽データは年度毎に作成された年間ヒットチャートランキングで各年毎に管理される一方、

【0024】配信を受けたい楽曲数を設定し、

【0025】配信を受けたいヒットチャート年度を指定し、

【0026】前記表現用言語に対応する検索情報を入力し、

【0027】前記検索情報を含んだ楽曲を指定された年度の年間ヒットチャートからランキング順に前記楽曲の設定数に対応して選曲し、

【0028】前記記録媒体へ配信して編集することを特徴としている。

【0029】請求項8の発明方法によれば、検索情報により楽曲の絞り込みを行うとともに、指定された年度の年間ヒットチャートからユーザーが設定した数分だけランキング順に選曲するので、記録媒体へ容易に配信して編集することができる。

【0030】

【発明の実施の形態】〔第1実施形態〕

【0031】本発明の実施の形態の一例について、図面を参照しながら説明する。

【0032】図1はネット上における本発明の選曲支援システムの全体構成を示す概念図、図2は選曲支援システムのブロック図である。

【0033】この選曲支援システムは、コンピュータ端末を用いたネット上で、音楽ソフトを楽曲名やアーティスト名以外の情報（表現形態）で検索できるようにし、ユーザーが膨大な数の音源から選曲を行って、検索された楽曲を端末側の記録媒体へダウンロード（配信）するものである。

【0034】本発明の実施の形態の一例としての選曲支援システムは、図1に示すように、その中核をなし所定の手順で楽曲検索を行うとともに各種制御を行うプログラムが格納されているWEBサーバー1と、ユーザー側において検索情報の提供を受けるとともに音楽データの配信が行われる端末（コンピュータ）2とにより、インターネット3上に構築されている。ユーザーが直接操作する端末2は、各ユーザーが契約した各プロバイダー4を介してインターネット3に接続されている。

【0035】ユーザーが操作する端末2は、中央演算装置（CPU）とメモリ（ROM/RAM）を有する本体と、CRT等のディスプレイ、キーボード、マウス、フロッピーディスクドライブ、CDROMドライブ、モデム、印字手段を備えるとともに、音楽データのメロディデータを記録するための記録媒体をドライブするドライブ手段を有するコンピュータが使用されている。

【0036】したがって、WEBサーバー1とユーザー側の端末2とが電話回線により接続されることにより、WEBサーバー1上における音楽データに関する検索情報について、各端末2を操作するユーザー側がこの情報を共有でき、コンピュータを用いたネット上で情報の送受信を行うとともに、端末側の記録媒体へのメロディデ

ータの配信を可能としている。

【0037】次に、選曲支援システムのより詳細な構成について、図2のブロック図を参照しながら説明する。

【0038】WEBサーバー1内には、音楽データ格納部（音楽データベース）5と、データ処理部6とが設けられ、ユーザー側の端末2には、情報入力部21とCRT等の表示部22が設けられている。データ処理部6は、情報入力部21から入力されるデータに基づいて音楽データ格納部5との間でデータ処理を行う部分で、端末2側とは電話回線を介して接続されている。

【0039】情報入力部21は、ユーザーが端末2のキーボード等の入力手段から後述するシンボル文字を入力するようになっている。

【0040】記録媒体23は、WEBサーバー1側から配信されたメロディデータを記録するもので、メモリースタックやMDディスク等、配信されたメロディデータを信号として記録し電気的手段により再生できる媒体であればよい。

【0041】本発明の場合、楽曲を選曲するに際して、楽曲の内容（イメージ情報）を表現するために複数の表現用言語を選定し、各楽曲について、任意数の表現用言語を選択して識別コードを作成してデータベース化し、ユーザー側において配信される楽曲の選択に際して、この表現用言語が識別コード内に存在するかにより楽曲の検索が行われる。

【0042】楽曲の表現用言語は、図3に示すような文字コード一覧表が端末2の表示部21に表示され、必要に応じて印字手段で用紙に印刷できるようになっている。

【0043】この文字コード一覧表11は、見出し（表現群）16と、見出し16の下に列記された複数の表現用言語13と、各見出し16左横に表示され各見出しを象徴するシンボル文字17と、各表現用言語13の左横に表示され各表現用言語を象徴するシンボル文字14とから構成され、表現用言語13とシンボル文字14との一対で文字コード12が構成されている。

【0044】また、シンボル文字は、漢字、平仮名、片仮名、ローマ字（大文字及び小文字）等の文字の内から前記各表現用言語毎に選定した任意の1文字で構成されている。

【0045】文字コード一覧表11は、楽曲のメロディや歌詞において、その特徴的要素を感覚的に的確に表現すると思われる表現用言語13を選定し、各表現用言語13毎にシンボル文字14を付けて分類毎に制作して使用するようになっている。

【0046】例えば、特徴的要素としては、「明るい」曲か「暗い」曲か、テンポの速度、歌詞の内容その他が例示できるので、これらの要素を的確に表現するのに適切であると思われる言葉が選定される。

【0047】次に、文字コード一覧表11において選定

される表現用言語13の具体的例について説明する。

【0048】楽曲（音楽ソフト）の内容は、ジャンル、曲雰囲気、テンポ、リズム、アーティスト構成、ボーカル、ワーズ（歌詞）、アトリビュートの項目に区分けされ、これら各項目は見出し（表現群）16としてそれぞれ表示されている。各見出し16の左横（頭部）にシンボル文字17が付記されている。

【0049】各項目中、ジャンルはポピュラーやクラシック等の音楽の種類に関する情報、曲雰囲気は「明るい」等の曲の持っている雰囲気、テンポ及びリズムは曲の構成要素、アーティスト構成はアーティストの種別を、ボーカルは声の種類や質を、ワーズは歌詞の内容を、アトリビュートは曲に付随する情報をそれぞれ示している。

【0050】そして、見出し16の欄の下部に複数のシンボル文字14と表現用言語13から成る文字コード12が表示されることにより、文字コード一覧表11が構成される。

【0051】文字コード一覧表11に示した以外の見出しとしては、アーティスト年代の項目を設けてもよい。

【0052】文字コードの各表現用言語は、楽曲の内容の特徴的要素を感覚的に的確に分類して表現することができると思われるものを選んで採用するもので、例えばワーズの分類用として、「恋愛もの」、「メッセージもの」、「明るい」、「暗い」、「悲しい」、「静かな」、「躍動的」、「もめごと」、「平和」、「別れる」、「ハッピーエンド」等の各表現用言語、テンポ用の分類として、「スロー」、「アップ」、「ミディアム」等の各表現用言語、リズムの分類として、「4ビート」、「8ビート」、「16ビート」等の各表現用言語を選定することが考えられる。

【0053】また、アーティスト構成の分類用として、「男性ソロシンガー」、「女性ソロシンガー」、「シンガーソングライター」等の各表現用言語、ボーカルの分類用として、「ハスキー」、「透明」、「バリトン」、「テノール」、「バス」、「ソプラノ」、「メゾソプラノ」、「アルト」、「細い」、「太い」、「深い」、「浅い」、「哀愁」、「ウイスキー」、「スキヤット」、「重い」、「軽い」等の各表現用言語、アトリビュートの分類用として、「CMタイアップ」、「ドラマタイアップ」、「クリスマス」等の各表現用言語を選定することが考えられる。

【0054】なお、上述した各表現用言語は、一例として示したもので、上記以外の言葉を表現用言語として任意に選定して採用することができることは勿論である。

【0055】この実施例では、表現用言語13の「恋愛もの」に対するシンボル文字14として「恋」、表現用言語13「メッセージもの」のシンボル文字14として「メ」、表現用言語13「ドラマタイアップ」のシンボル文字14として「D」というように、任意の文字を選

定し、これらの各文字を採用した例が示されている。また、これらシンボル文字14は、文字コード一覧表11中で同じ文字が重複しないように各表現用言語13に対して選定することにより、一つのシンボル文字14から特定の表現用言語13が判読できるようにしている。

【0056】一方、各楽曲については、その内容の特徴的要素を表現する複数の表現用言語が任意数選択され、この表現用言語に対し1対1に対応するシンボル文字の集合で構成されるシンボル文字列を作成し、これら楽曲名及び識別コード及び曲を信号で表したメロディデータが音楽データとして音楽データ格納部5に格納されている。

【0057】また、音楽データ格納部5に格納されている音楽データは、各年度毎の年間ヒットチャート（ヒットチャートランキング）に分類されて管理されている。

【0058】また、端末2の表示部22での文字コード一覧表11を表示する画面においては、図3に示すように、その中心位置に入力窓30が設けられ、この入力窓30には、2桁の数字が入力できる配信曲数設定入力窓31、4桁の数字が入力できるヒットチャート年度入力窓32、最大で12文字が入力可能なスペースから成るシンボル文字入力窓33が表示されている。

【0059】配信曲数設定入力窓31には、配信を受けたい楽曲数1～99の範囲で入力する。

【0060】ヒットチャート年度入力窓32には、配信を受けたい年間ヒットチャートの年度を西暦で入力する。

【0061】シンボル文字入力窓33の各スペースには、先頭側からキーボード（情報入力部21）から12字以内の任意数のシンボル文字が入力できるようになっている。

【0062】シンボル文字入力窓33の下には、最大で5文字が入力可能なスペースから成る除外条件情報入力窓34が設けられており、この除外条件情報入力窓34には、音楽ジャンルにおいて除外したい特定のジャンルに対応する表現用言語のシンボル文字が入力できるようになっている。すなわち、音楽ジャンルにおける表現用言語に対応するシンボル文字をシンボル文字を入力窓33に積極的に入力した場合には、除外条件情報入力窓34に入力する必要はないが、音楽ジャンルを積極的に選択しない代わりに、逆に除外したい音楽ジャンルを選択したい場合がある。除外条件情報入力窓34は、このような時にシンボル文字を入力するもので、楽曲の検索に際して入力された音楽ジャンルについて積極的に選曲しない検索が行われる。

【0063】また、文字コード一覧表11を表示する画面では、端末2に接続されたマウスの動きに連動する矢印が表示され、クリックすることにより実行キーの操作が行えるようになっている。

【0064】更に、入力窓30においては、シンボル文

字入力窓33の下方位置に検索実行窓34が表示されるようになっている。この検索実行窓34は、前記マウスでクリックすることにより検索処理が実行されるようになっている。

【0065】音楽データ格納部5及び端末2に接続されているデータ処理部6は、前記情報入力部21から配信曲数設定入力窓31及びヒットチャート年度入力窓32及びシンボル文字入力窓33にそれぞれ入力された数字及び各シンボル文字14から楽曲の選曲を行うものである。すなわち、指定された年度のヒットチャートにおける各楽曲について、各シンボル文字14の検索情報が、楽曲の識別コード中に含まれているかを判断し、前記音楽データ格納部5のデータベースから該当する楽曲をランキング上位から配信曲数設定で入力された数だけ引き出す検索を行って、表示部22に選曲音楽リストとして表示させるものである。

【0066】次に、図2の選曲支援システムにおける具体的な動作について、図4のフローチャート及び図5の選曲支援システムの端末2の表示部22に表示される各画面を参照しながら説明する。

【0067】先ず、楽曲の配信サービスを受けたいユーザーが端末2（図1）を操作し、インターネット3で音楽配信サービス提供者のホームページにアクセスし、メニュー画面からダウンロード（配信サービス）モードを選択し、表示部22の画面上に文字コード一覧表11を表示させる（ステップ41）（図5（a））。

【0068】次に、文字コード一覧表11の画面中央部に表示された入力窓30内の配信曲数設定入力窓31に配信を受けたい楽曲数、例えば「15」を、ヒットチャート年度入力窓32に配信を受けたいヒットチャートの年度、例えば「1999」を、シンボル文字入力窓33に楽曲内容の表現用言語に対応する複数のシンボル文字をキーボード（情報入力部21）からそれぞれ入力する（ステップ42）。

【0069】配信曲数設定入力窓31及びヒットチャート年度入力窓32には、必ずしも数字を入力しなくともよい。配信を受けたい楽曲数を設定しない場合には、ユーザーが入力する条件を満たす全ての楽曲がリストアップされ、ヒットチャート年度を入力しない場合には、音楽データ格納部5に格納される全ての楽曲が検索対象になる。

【0070】また、シンボル文字入力窓33は、12文字が入力可能になっているが、全て入力する必要はなく、任意数の数のシンボル文字14、例えば「あ」「ス」「女」「恋」を入力する。このシンボル文字14の入力は、画面に表示された表現用言語13を見ながら、若しくは文字コード一覧表11を印字した用紙を見ながら行う。

【0071】除外条件情報入力窓34は、5文字が入力可能になっているが、全て入力する必要はなく、除去し

10

20

30

40

50

たい特定のジャンルに該当する任意数の数のシンボル文字14、例えば演歌を除外する場合「演」を入力する。除外条件情報入力窓34には、全く情報（シンボル文字）を入力しなくてもよい。このシンボル文字14の入力は、画面に表示された表現用言語13を見ながら、若しくは文字コード一覧表11を印字した用紙を見ながら行う。

【0072】数字や任意の数のシンボル文字14を入力した後、検索実行窓35をクリックすることで、データ処理部6において、配信希望年度のヒットチャート年度に含まれる各楽曲について、入力されたシンボル文字14が識別コードに含まれる楽曲を順次検索する処理が行われる。

【0073】すなわち、先ずシンボル文字入力窓33の先頭の第1のシンボル文字を識別コードに含む楽曲について、音楽データ格納部5の希望年度のヒットチャート年度から検索して（ステップ43）リストアップし（ステップ44）、続いて2番目のシンボル文字を識別コードに含む楽曲を前記リストアップされた楽曲から検索することが順次繰り返して行われる。

【0074】また、除外条件情報入力窓34にシンボル文字14が入力されている場合には、このシンボル文字14に該当する音楽ジャンルの楽曲を選曲から除外する処理が行われる。

【0075】そして、シンボル入力窓33に入力された全てのシンボル文字14についての検索が終了した後（ステップ45）、次画面（選曲表示画面50）において、楽曲の識別コードにユーザーが選択した全てのシンボル文字14が含まれている検索された複数の楽曲名51（検索された楽曲が1つの場合には1個）をヒットチャート年度のランキング上位から順に入力された設定数分だけ表示させる（ステップ46）（図5（b））。また、検索された楽曲がない場合には、該当する楽曲が存在しない旨のメッセージの表示を行う。

【0076】上述の例では、入力したシンボル文字に対応する「あ」「ス」「女」「恋」の文字コードを含んだ、雰囲気が「明るい」テンポが「スロー」で「女性ソロシンガー」が歌う「恋愛もの」で、演歌でなく、1999年のヒットチャート年度に登場し、ランキングが上位から順に最大で15曲が選曲表示画面50に楽曲名51としてリストアップされる。

【0077】選曲された全ての楽曲名51について、記録媒体23へダウンロードを行いたい場合には、選曲表示画面50に設けた全実行窓52をクリックすることで、楽曲のメロディデータが配信される。

【0078】また、全実行窓52をクリックした際に、選曲表示された楽曲51の総容量が記録媒体の容量を越えている場合には、その旨の表示を行い、ユーザーがダウンロードしたい各楽曲部分をクリックした後、部分実行窓53をクリックすることで、クリックされた楽曲名

51のメロディデータのみが配信される。

【0079】上記例では、シンボル文字入力窓33の他、配信曲数設定入力窓31、ヒットチャート年度入力窓32、除外条件情報入力窓34にも検索条件を入力して選曲を行ったが、配信曲数設定入力窓31及びヒットチャート年度入力窓32及び除外条件情報入力窓34への入力は必要に応じて行えばよい。

【0080】リストアップされた楽曲名51が多い場合には、ユーザーがダウンロードしたい各楽曲部分をクリックし、部分実行窓53をクリックすることで、クリックされた楽曲名51のメロディデータのみを配信すればよい。

【0081】また、上記例では、漢字、平仮名、片仮名、ローマ字（大文字及び小文字）等の文字の内から各表現用言語13毎に対応するシンボル文字14を任意の1文字で構成するようにしたが、例えばローマ字だけで表示させようとする場合には、表現できる種類が少なくなってしまう（大文字と小文字で52種類）ので、シンボル文字13を2文字で構成するようにしてもよい。

【0082】この場合、シンボル文字入力窓31に入力される2文字ずつで表現用言語を認識するようにデータ処理部6側でプログラムを設定しておけば、上記第1の例と同様の検索手順で処理することができる。

【0083】また、上記例では、文字コード一覧表11で選定されたシンボル文字14は全て異なる一文字で設定したが、各見出し16毎に同じ文字を使用することもできる。この場合、重複して使用されるシンボル文字14について表現用言語13を区別できるように、見出し16に対応するシンボル文字17との対で一つの表現用言語13に対応させる。

【0084】すなわち、図6に示すように、入力窓30内のシンボル文字入力窓31を上下に分割し、上段側31aに見出しに対応するJ、F、T……等のシンボル文字17を予め書き込んでおくことにより、その下段側31bのスペースが各見出しに対応する表現用言語のシンボル文字入力用としている。

【0085】したがって、見出し16に対応するシンボル文字17と表現用言語13に対応するシンボル文字14との2文字で一つの表現用言語13を表すので、商品の識別コード側においても表現用言語の頭部に見出し16に対応するシンボル文字17を付与させておく。このように対処することで、データ処理部6において、文字コード一覧表11の一つの表現用言語13に対する識別コード側のシンボル文字14を認識でき、上記第1の例と同様の検索手順を実行することができる。

【0086】上記例によれば、端末（コンピュータ）2を用いたネット上で、ユーザーが表示部22の画面上において、入力窓30内の配信曲数設定入力窓31に配信を受けたい楽曲数を、ヒットチャート年度入力窓32に配信を受けたいヒットチャートの年度を、複数の表現用

10

20

30

40

50



言語13のシンボル文字14を検索情報としてシンボル文字入力窓31へ入力することで、検索情報が指定した年度のヒットチャートの楽曲の識別コード中に含まれているかを判断することにより、楽曲を検索して絞り込むを行った後に配信(ダウンロード)させることが可能となる。

【0087】図7は実施の形態の第2の例を示すもので、第1の例とはシンボル文字14を使用しない点に相違がある。すなわち、第1の例では文字コード一覧表11の画面にシンボル文字入力窓31を設けて、このシンボル文字入力窓31にシンボル文字14をキーボード(情報入力部21)から打ち込むようにしていたが、第2の例では図7に示すように、画面に表示された表現用言語73自体が全てクリック可能に構成され、クリックすることで表現用言語73を選択し(選択すると画面上での表示カラーが反転する)、任意の数の表現用言語73を選択した後に第1の例と同様に検索実行窓33をクリックすることで希望する表現用言語を入力できるようになっている。図中、図3と同一構成をとる部分については同一符号を付している。

【0088】第2の例によれば、端末(コンピュータ)2を用いたネット上で、ユーザーが表部22の画面上において複数の表現用言語73をクリックすることにより、検索情報として選択して入力することができ、これら検索情報が商品の識別コード中に含まれているかを判断することにより、商品を検索し商品の絞り込むを行うことが可能となる。

【0089】したがって、第1の例と比較してシンボル文字入力窓31に文字を入力する手間を省くことができるので、操作が簡単になるという利点がある。

【0090】また、文字コード一覧表11の画面上において、表現用言語73が性質毎に見出し(表現群)16により分割されて表示されているので、同一見出し16の中から一つの表現用言語73を容易に選択することができる。

【0091】[第2実施形態]

【0092】次に、本発明の第2の実施形態を図8及び図9に基づいて説明する。

【0093】図8の選曲支援システムは、複数の音楽再生データ101を固有の識別情報102と関連付けて格納した音楽データベース103と、ユーザ104から選択条件105を受け付け当該選択条件105に従って前記音楽データベース103から音楽再生データ101を選択する選択手段106と、選択した音楽再生データ101をユーザ104の記録媒体107に配信する配信手段108と、ユーザ104が過去に選択した音楽再生データ101の識別情報102を当該ユーザ104の識別情報109と関連付けて記憶する記憶手段110とを備えている。このうち、前記選択手段106は、ユーザ104から選択依頼105を受けると、前記記憶手段11

0の情報に基づいて、当該ユーザ104が過去に選択した音楽再生データ101を前記選択の対象から除外する除外機能111を備えている。

【0094】本実施形態において、前記音楽データベース103は、前記音楽再生データの識別情報102と当該音楽のヒットチャートの順位とを関連付けて格納し、前記選択条件105は、特定日のヒットチャートの上位曲である。

【0095】これ以外にも、前記音楽データベース103は、前記音楽再生データの識別情報102と当該音楽のイメージを表す情報とを関連付けて格納し、前記選択条件105が、音楽に求めるイメージであってもよい。または、これら2つ乃至それ以上の選択条件をアンド条件で用いて選択を行ってもよい。

【0096】また、前記音楽データベース103は、前記音楽再生データの識別情報102と当該音楽のジャンル情報とを関連付けて格納し、前記除外機能は、前記ユーザの指定した音楽ジャンルに属する音楽再生データを前記選択の対象から除外するようにしてもよい。

【0097】これを更に詳述すると、本実施形態において、音楽再生データ101は、MP3フォーマットの音楽配信データである。音楽再生データの識別情報102は、互いに重複しない番号である。音楽データベース103は、インターネットゾーンに配置されている。ユーザ104は、ユーザのコンピュータ端末(音楽データベース103にアクセス可能な携帯電話、携帯端末、携帯再生装置などを含む)を意味する。選択条件・選択依頼105の送信は、ユーザのコンピュータ端末104からコンピュータネットワークを介して選択手段106に受信される。選択手段106は、インターネットゾーンに配置されたコンピュータのプログラム処理によって実現される。ユーザの記憶媒体107は、ユーザのコンピュータ端末104に装備されたHDD(ハードディスクドライブ)等の回転媒体やメモリスティック(商標)等のメモ리카ードである。配信手段108は、音楽データベース103を持つコンピュータの通信装置でもよいし、選択手段106を持つコンピュータの通信装置でもよい。もちろん、音楽データベース103と、選択手段106とを、インターネットゾーンにある同じコンピュータが所有していてもよい。ユーザの識別情報109は、予めユーザに割り当てられた数値の英数字から成るIDや当該ユーザのメールアドレスなどである。記憶手段110は、インターネットゾーンに配置されたコンピュータが持つHDDである。選択手段106を持つコンピュータと同一であってもよいし、異なるコンピュータであってもよい。また、ユーザのコンピュータ自身がcookie等に管理していてもよい。除外機能111は、選択手段106を持つコンピュータのプログラム処理によって実現される。ヒットチャート順位情報112は、各音楽再生データについて、「何年何月第何週のシングル

ヒットチャートは第何位」という時期毎に整理されたヒットチャートランキング情報を含んでいる。

【0098】そして、ユーザ104は、まず選択手段106にユーザ識別番号とパスワードを送信し、従来一般的なログイン時の認証を行う。選択手段106は、認証を通ったユーザの識別情報を記憶し、選択条件の入力用GUIをユーザ104に提供する。ユーザ104は、

「何年何月第何週のシングルヒットチャートの上位10曲」などと音楽再生データの選択条件を決定し、当該選択条件とデータの選択依頼105を選択手段106に送信する。選択手段106は、ユーザ104から選択条件105を受信し、当該選択条件を検索キーとして音楽データベース103にアクセスする。そして、指定の日付のヒットチャートランキングが上位10曲に入るものの識別番号102を探し出す。次に、選択手段106は、除外機能111を起動し、記憶手段110にアクセスし、今回のユーザ（ユーザ識別情報により識別）が過去に同じ音楽再生データを選択していないかを音楽再生データの識別情報をマッチングすることにより判断する。この結果、過去に選んだ楽曲が含まれている場合は、その音楽再生データを選択対象から除外し、一つ下位のランキングにある楽曲を選択する。この処理により、未配信の10曲が揃うと、選択手段106は、選択した楽曲の一覧をユーザ104に送信し、承認を受ける。ユーザ104が、選択手段106に承認を送信すると、選択手段106は、選択した楽曲の音楽再生データ101を音楽データベース103から読み出して配信手段108に引き渡す。そして、配信手段108からユーザの記憶媒体107に対し、音楽再生データの配信が開始される。また、選択手段106は、今回選択した音楽再生データの識別情報と今回配信を希望したユーザの識別情報とを関連付けて記憶手段110に格納し、次回同じユーザが配信曲を選ぶ場合と同じ曲が選ばれないようにする。

【0099】以上説明した本実施形態によれば、ユーザが沢山ある音楽配信データの中から数曲を選ぶ場合に、ある選択条件を設定することで一度に複数の曲を選択できるのであれば便利であるが、一方で、以前に配信を受けた楽曲の音楽再生データと同じデータを重複して配信され課金されることは不利益となる。そこで、本実施形態では、過去にユーザが配信を受けたデータは同じユーザに対する配信の対象から自動的に除くようにし、これにより、配信希望曲の選択作業の利便性を向上させるとともに、ユーザが重複した配信を受けて不利益を蒙らないように配慮している。

【0100】

【発明の効果】本発明は、以上のように構成され機能するので、これによると、請求項1から3の発明では、除外機能がユーザの過去に選択した音楽再生データを以降の選択対象から除くので、ユーザが沢山ある音楽配信データの中から数曲を選ぶ場合に、ある選択条件を設定す

ることで一度に複数の曲を選択する便利なシステムを利用できるとともに、一方で、以前に配信を受けた楽曲の音楽再生データと同じデータを重複して配信され課金されるといった不利益を防止することができる。

【0101】また、請求項5以降の発明によれば、コンピュータ端末を用いたネット上で、ユーザが画面上において複数の表現用言語を検索情報として選択して入力することで、これら検索情報が楽曲の識別コード中に含まれているかを判断することにより、音楽データベースから楽曲を検索し選曲の絞り込むを行うことができるので、ユーザが楽曲名やアーティスト名を知らない場合であっても、希望する楽曲の内容を指定することで容易に検索を行って、メロディデータの配信を受けることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】ネット上における本発明の選曲支援システムの全体を示す概念図である。

【図2】選曲支援システムのブロック図である。

【図3】選曲支援システムにおけるデータ一覧表の画面を示す説明図である。

【図4】選曲支援システムにおける情報入手の手順を説明するためのフローチャートである。

【図5】(a)及び(b)は、楽曲の検索に際して、選曲支援システムにより端末に表示される画面である。

【図6】データ一覧表の画面に表示される入力窓の他の例を示す説明図である。

【図7】第2の例の選曲支援システムにおけるデータ一覧表の画面を示す説明図である。

【図8】本発明の第2実施形態の構成図。

【符号の説明】

- 1…WEBサーバー
- 2…端末（コンピュータ）
- 3…インターネット
- 5…音楽データ格納部
- 6…データ処理部
- 12…文字コード
- 13…表現用言語
- 14…シンボル文字
- 16…見出し
- 21…情報入力部
- 22…表示部
- 23…記録媒体
- 30…入力窓
- 31…配信曲数設定入力窓
- 32…ヒットチャート年度入力窓
- 33…シンボル文字入力窓
- 34…除外条件情報入力窓
- 35…検索実行窓
- 50…選曲表示画面
- 51…楽曲名

73…表現用言語

101 音楽再生データ

102 識別情報

103 音楽データベース

104 ユーザ

105 選択条件・選択依頼

\* 106 選択手段

107 記憶媒体

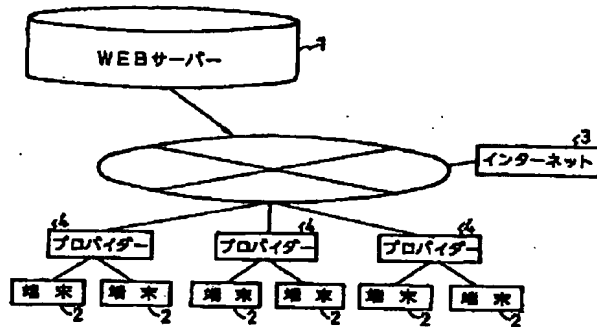
108 配信手段

109 ユーザ識別情報

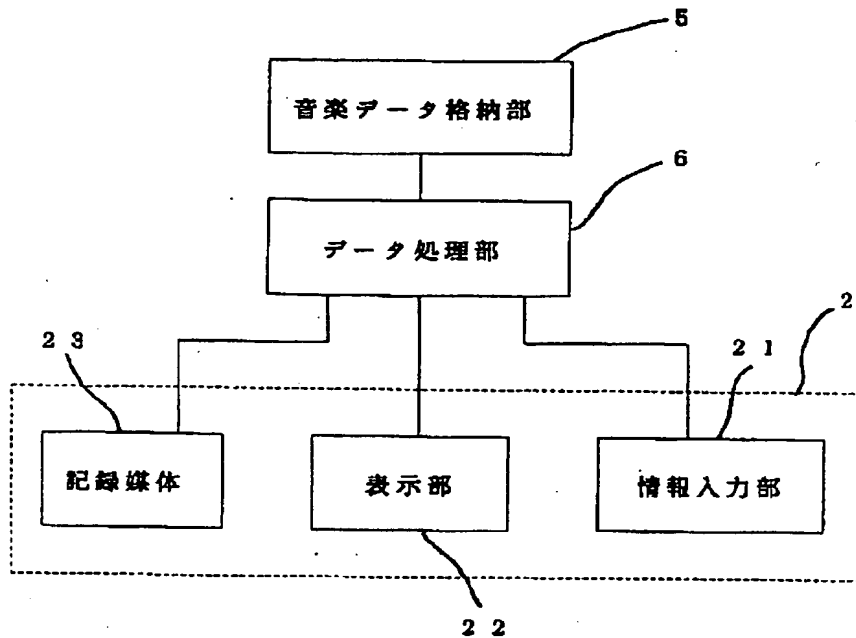
110 記憶手段

\* 111 除外機能

【図1】



【図2】

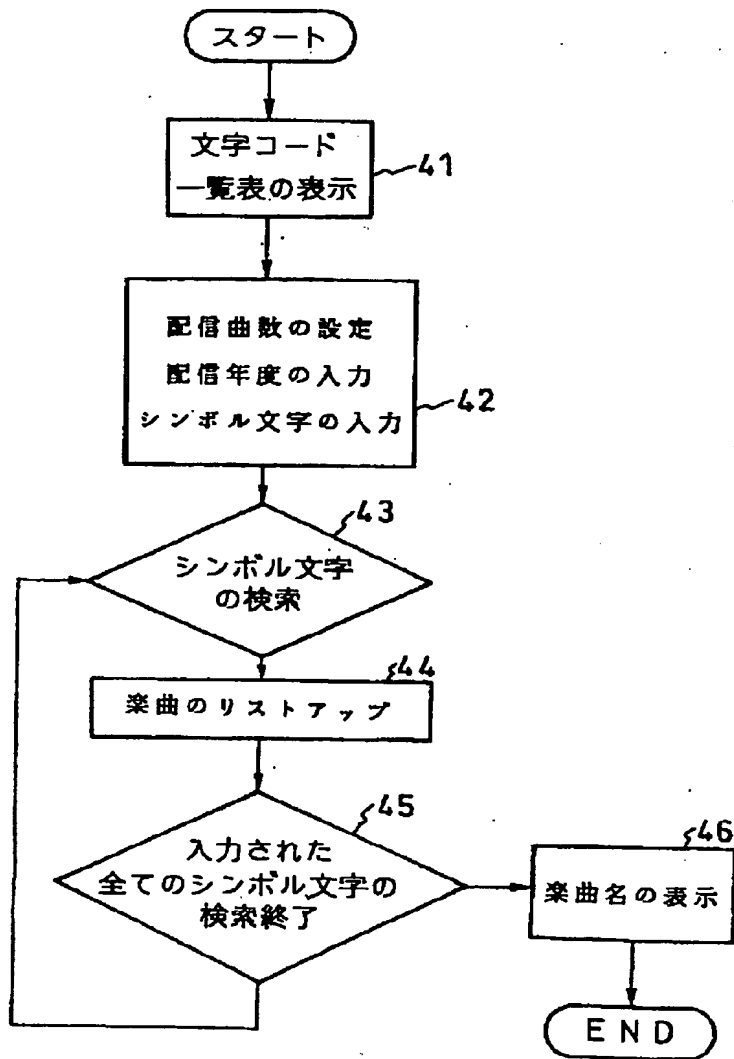


【図3】

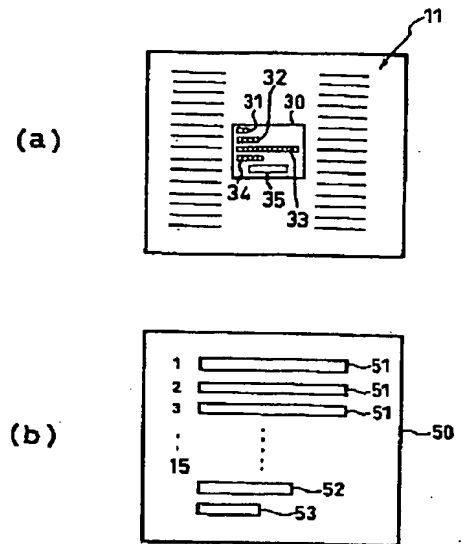
## 文字コード一覧表

17	★<J: ジャンル>	16	★<V: ボーカル>	11
	ボ: ボビュラー		ハ: ハスキー	
	コ: アコスティック		透: 透明	13
14	ロ: ロック	12	バ: バリトン	
	イ: インスト、フュージョン	13	テ: テノール	12
	ジ: ジャズ		b: バス	
	ク: クラシック		ソ: ソプラノ	
	ヒ: ヒーリング		メ: メゾソプラノ	
	童: 童謡		r: アルト	
	演: 演歌		細: 細い	
	民: 民謡		太: 太い	
	レ: レゲエ		深: 深い	
	タ: タンゴ		浅: 浅い	
	マ: マンボ		か: 軽い	
	ゲ: ゲーム		お: 重い	
	ブ: ブラックコンテンポラリー		哀: 哀愁	
	ま: アニメ	17	ウ: ウィスパー	16
	画: スクリーン		★<W: ワーズ>	13
	フ: ヒップホップ、ファンク		恋: 恋愛もの	12
	ソ: ソウル、R&B		め: メッセージもの	
	ド: アイドル	33 30 31 32	恋: 恋しい	
17	ユ: ユーロビート		楽: 楽しい	
	い: その他		平: 平和(反戦も含む)	
★<F: 曲雰囲気>	16		高: もめごと(戦争も含む)	
14	あ: 明るい	13	会: 出会い	
	く: 暗い		別: 別れ	
12	し: 静か		は: ハッピーエンド	
	ど: 運動的		友: 友情	
	ば: バラード		自: 自然	
	ち: 中道	34 35	明: 明るい	
17	ろ: その他		暗: 暗い	
	<T: テンポ>		わ: その他	16
14	ス: スロー	13	★<A: アトリビュート>	12
	ミ: ミディアム	12	C: CMタイアップ(TV)	13
	ア: アップ		D: ドラマタイアップ	
17	に: その他	16	C: CMタイアップ(ラジオ)	
★<R: リズム>			n: 新曲(半年以内)	
4: 4ビート			う: 海	
8: 8ビート			れ: 雨	
6: 16ビート			ゆ: 雪	
S: シャッフル			ぜ: 風	
3: 3拍子系(3/4、6/8等)			て: 天国	
ほ: その他	16		け: 酒	
★<G: アーティスト構成>	12		B: 誕生日	
男: 男性ソロシンガー	13		X: クリスマス	
14	女: 女性ソロシンガー		N: 正月	
d: 男性グループ			る: 春	
j: 女性グループ			な: 夏	
m: 男女混合グループ			き: 秋	
シ: シンガーソングライター			ふ: 冬	
と: その他				

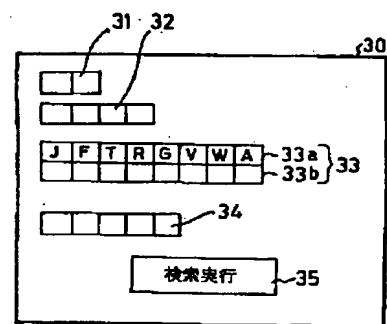
【図4】



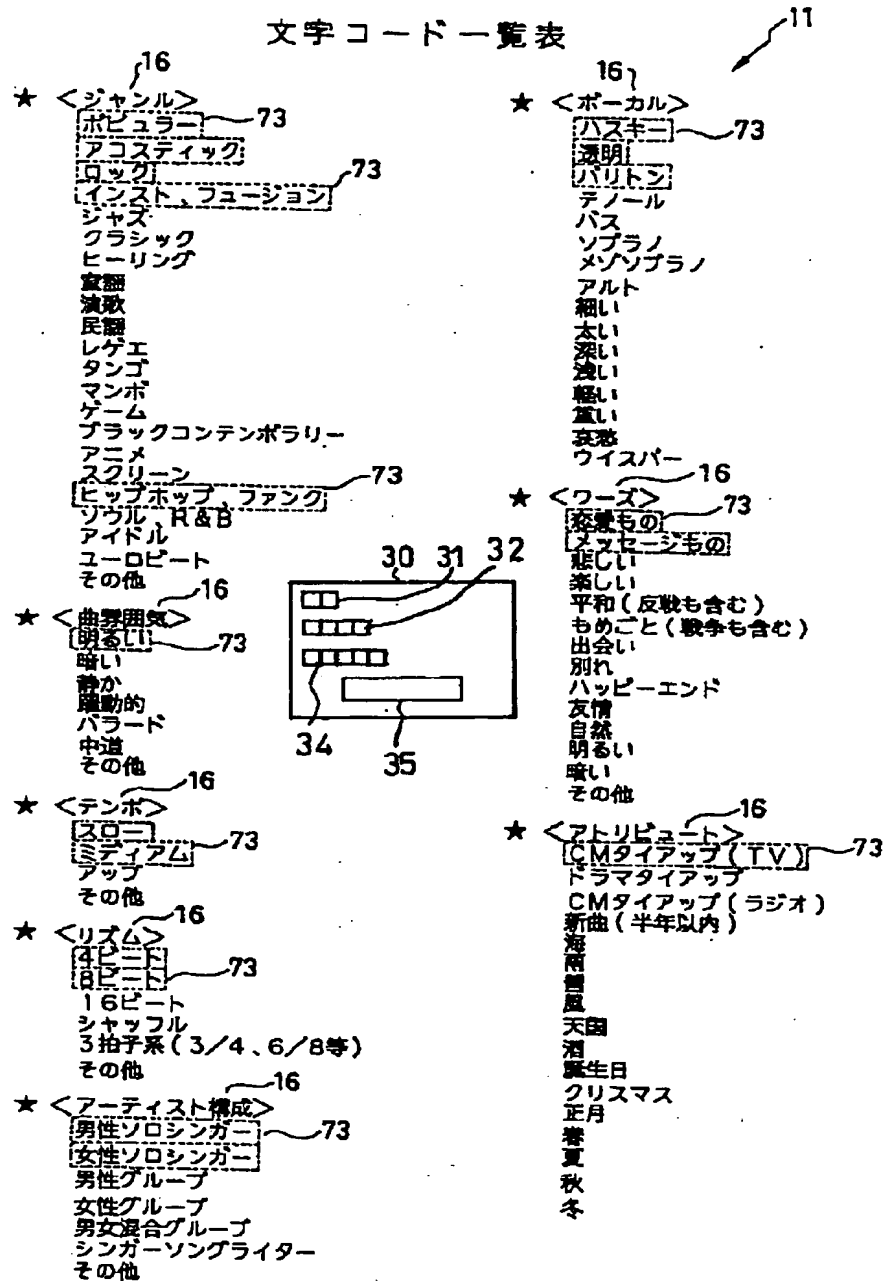
【図5】



【図6】



【図7】



【図8】

